

行政評価シート(事後評価)

コード (54) 6-2-10	事務事業名 通所介護サービス事業	所管部課 福祉部高齢者支援課(旧保健福祉部高齢者支援課)
--------------------	---------------------	---------------------------------

事務事業の概要	事務事業の目的		根拠法令等
	在宅の介護又は支援を要する高齢者等に対して、通所により、介護保険法に定めるサービスを提供することにより、高齢者等及びその家族の福祉の向上を図ることを目的としている。		<input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乘せ補助額・市単独補助額)等		
	介護保険法の要支援及び要介護の認定を受けた在宅の利用者が、日帰りで施設に通い、可能な限り自立した居宅生活が営めるよう必要な援助をする。市設置民間運営のデイサービスセンターは2箇所あり、サービス内容は、送迎・食事・入浴・機能訓練・趣味創作活動等を実施している。また、介護保険法の定めにより1割の利用者負担金及び食事の提供に要する費用等実費負担がある。		
事業開始時期	平成12 年度	実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	事業費(A)			118,547	108,284	117,234
財源	国庫支出金・都支出金	千円				
地方債						
内:その他 ()						
財源	一般財源		118,547	108,284	117,234	132,340
	介護報酬・利用者負担金	千円	58,690	56,105	58,077	65,076
	所要人員(B)	人	0.35	0.35	0.35	0.35
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	2,915	2,865	2,856	2,856
	臨時職員等賃金(C')	千円				
	総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	121,462	111,149	120,090	135,196
	単位当たりコスト					
	(E)=(D)/ (利用延べ人数)	千円	15.3	14.3	15.6	#DIV/0!

評価指標の設定	活動等指標		単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	稼働率	実績値	%	82	80	78	80
開所延日数	実績値	日	468	488	490	539	
(指標の説明・数値変化の理由 など) 1日あたりの利用可能枠(定員)に対する年間平均稼働実績 年間営業延べ日数(2施設) 平成18年度までは、2施設とも月曜から金曜営業・平成19年度から谷戸のみ土曜営業開始による増							
一次	成果指標		単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	利用延べ人数	目標値	人			7,686	7,800
		実績値	人	7,931	7,779	7,686	
二次	本人の満足度	目標値	%				
		実績値	%			90	
(指標の説明・数値変化の理由 など) デイサービスを利用した年間延べ利用者数 利用者アンケート(第三者評価による)有効回答者86人の「大変満足」「満足」「普通」と回答した人の割合							

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	第三者評価による利用者家族の満足度等アンケート調査の結果、「特によいと思う点」として、「地域と連携した利用者の安全・安心への取り組み」「利用者の状態や嗜好に応じた食事提供の工夫」「リクリエーションの楽しさ」などがあげられる。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	各市公設民営で同様のサービスを実施している。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	社会福祉法人等の民間事業者でデイサービスを実施している。

コード (54) 6-2-10	事務事業名 通所介護サービス事業	所管部課 福祉部高齢者支援課(旧保健福祉部高齢者支援課)
--------------------	---------------------	---------------------------------

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等	
事業の優先度(緊急性)	3			<input type="checkbox"/> 拡充	<p>平成17年度業務委託先である西東京市社会福祉協議会は、市の受託事業をはじめとする施設の管理運営事業から順次撤退し、社協本来の業務に集約する方針を決定した。このことから市では高齢者関係委託施設について、平成18年度は谷戸高齢者在宅サービスセンターを、サービスの向上と経費の縮減を目的とし、企画提案方式による新たな事業委託先を決定した。同様に平成19年10月を目標とし、田無高齢者在宅サービスセンターの業務委託先を選定する予定である。なお、谷戸在宅サービスセンターにおいては、新事業者により、定員増、土曜営業、サービス提供時間の延長等利用者ニーズに対応したサービスの向上が図られ、利用者等から評価を得ている。また、民間のデイサービスセンターでは、経営上介護報酬単価が低い軽介護者の受け入れに消極的なこともあり、その受け皿としても公設民営によるデイサービスセンター事業は継続実施すべきである。</p>
事業の必要性	3			<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施	
事業主体の妥当性	2			<input type="checkbox"/> 改善・見直し	
直接のサービスの相手方	1			<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
事業内容等の適切さ	3			<input type="checkbox"/> 休止	
受益者負担の適切さ	3			<input type="checkbox"/> 廃止	
市民ニーズの把握	3				

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等	
事業の優先度(緊急性)	2			<input type="checkbox"/> 拡充	<p>平成18年度委託業者の運営については、一定程度の評価を得ているものと思われる。平成19年度の委託についても継続的に利用者ニーズに対応したサービス向上を図る工夫に努めたい。また、この事業に係る職員の事務効率化を図られたい。</p>
事業の必要性	2			<input type="checkbox"/> 継続実施	
事業主体の妥当性	2			<input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し	
直接のサービスの相手方	1			<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
事業内容等の適切さ	2			<input type="checkbox"/> 休止	
受益者負担の適切さ	3			<input type="checkbox"/> 廃止	
市民ニーズの把握	3				

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>平成18年度に谷戸高齢者在宅サービスセンターの委託先を公募により選定し、サービスの向上と経費の縮減を図ったことは評価する。</p> <p>平成19年度は、田無高齢者在宅サービスセンターの業者委託を選定する予定である。選定にあたっては、二次評価記載のとおり、平成18年度の委託選定を踏まえて実施し、利用者ニーズに対応したサービスとなるよう、工夫・改善を図られたい。</p>